

AAS（アソシエ・アドバンス・スクール）は、中小企業診断士2次試験に特化した受験機関です。過去問を基軸に置いた学習で、スーパーフレームワークや設問分解練習法など独自の2次試験攻略法を開発してきました。AASでは「表現力×構成力×与件活用力」で答案を作成しています。

【令和4年度・第2次筆記試験】 事例Ⅲ（生産・技術戦略）

この模範解答例は
AAS名古屋が作成しました。

第1問（配点20点）（80字）

販売面の課題は、コロナ禍で受注が減少する既存販売先以外の新たな販路開拓である。生産面の課題は、発注元の短納期化・小ロット化への対応と生産業務のデジタル化である。

（80字）

第2問（配点20点）（120字）

課題は、金型設計期間の短縮である。対応策は、①3次元CADを導入し、発注元との仕様確認の迅速化、設計・仕様変更への機動的な対応を実現すること、②金型設計と板金加工製品設計の作業分担調整を行う運用とし、設計業務の混乱を回避することである。

（118字）

第3問（配点20点）（120字）

対応策は、①プレス加工の作業分担をプレス加工機ごとから作業ごとに変更し、段取作業の短縮化を図ること、②生産計画を月次から週次へ変更し、計画立案の機動性を高めることにより、生産量を受注ロット基準に変更するとともに在庫量の抑制を図ることである。

（120字）

第4問（配点20点）（120字）

内容は、受注から納品に至る社内業務をオンラインで接続し、リアルタイムでの進捗情報の交換、共有を可能にすることである。社内活動は、①デジタル化による目標や目的を明確化し社内を示すこと、②デジタル化に合わせて従来の業務プロセスを見直すことである。

（120字）

第5問（配点20点）（100字）

可能性は、①コロナ禍でも成長性あるアウトドア市場で新規取引先を開拓でき、売上の向上・安定化を図れること、②若手の育成も考慮にいたった金型製作技術の活用により高価格帯製品を開発し、収益の向上を図れること。

（100字）

文責：AAS名古屋 鷺山 はるこ